

会議録（１）

会議の名称	令和５年度第２回飯能市男女共同参画審議会
開催日時	令和６年３月２１日（木） 開会 午前１０時００分 閉会 午前１１時３５分
開催場所	市役所本庁舎別館２階 会議室１
議長氏名	加藤 巳佐子
出席委員	加藤 巳佐子、岩崎 雅美、根本 寛也、住田 律夫、小野 麻理、重永 富子
欠席委員	野村 弘人、宮川 邦夫、山影 祥子、若林 佳子
説明者の職氏名	市民生活部参事兼市民協働推進課長 大橋 はるか 男女共同参画・国際担当 主査 関根 幸代 男女共同参画・国際担当 主事 佐藤まいり
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	市民生活部長 細田 幸二 市民生活部参事兼市民協働推進課長 大橋 はるか 男女共同参画・国際担当 主査 関根 幸代 男女共同参画・国際担当 主事 林 優児 男女共同参画・国際担当 主事 佐藤 まいり

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

- (1) 第6次飯能市男女共同参画プラン令和5年度事業実績について事務局から説明をした後、審議を行った。
- (2) 第6次飯能市男女共同参画プラン令和6年度事業計画について事務局から説明をした後、審議を行った。
- (3) 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に関する取組について事務局から説明をした後、審議を行った。

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
参事	<p>本日は、令和5年度第2回飯能市男女共同参画審議会にお忙しいところ御出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>私は本日の進行を務めさせていただきます市民生活部市民協働推進課長の大橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>開会前に今年度新たに委員になられました方に委嘱状の交付をさせていただきます。</p>
部長	<p><委嘱状交付></p>
参事	<p>本日の会議でございますが、1時間30分を予定しております。11時30分に閉会と考えておりますので、皆様の御協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまから、令和5年度第2回飯能市男女共同参画審議会を開会します。開会にあたり、加藤会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。</p>
会長	<p><加藤会長挨拶></p>
参事	<p>それでは、議事に入ります前に資料の確認をさせていただきます。</p>
事務局	<p><資料確認></p>
参事	<p>それでは、次第3議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、飯能市男女共同参画推進条例第19条に基づき、会長にお願い申し上げます。加藤会長よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、ただいまより議長を務めさせていただきます。よろしく願いします。</p> <p>議事（1）第6次飯能市男女共同参画プラン令和5年度事業</p>

事務局	<p>実績について審議いたします。事務局から説明をお願いします。</p> <p><資料1、2に基づき、事務局が説明></p>
議長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、資料1と2につきまして御意見、御質問はありますでしょうか。</p>
委員	<p>去年から民生委員を務めていますが、外国人のお母さんがDVを受けているという話も上がってきています。外国人の相談が6件しかないのに、蕎台で働いている方もいますので周知ができたらいいと思います。</p> <p>中野では、ブロードウェイを通ると外国語の会話が多く、日本語はたまに聞こえるくらいです。飯能にはそういった波も遅いとは思いますが、やって来ると思いますので外国の方に目を向けることも大事かと思えます。</p>
事務局	<p>外国人の方の相談については、件数は増えていないのですが、庁内に向けて、外国人相談を行っていることを周知しています。今年度は手続き上のことでの問い合わせが数件ありました。また先日、外国人の方に向けた防災講座を実施しました。今後は日本語教室に来ている方や外国人が多く勤務をしている企業に向けても周知を進めていきたいと思えます。</p>
職務代理	<p>各事業についてパネル等で、見える化をしてくださってありがとうございます。この様にそれぞれの事業が終わった後に振り返りの情報を出してもらおうと参加してくれた人たちに再度事業を見てもらえるとと思えます。参加者を掴んで離さないような関係づくりをして欲しいです。どこの自治体も人口減少が問題となっていますが、そういった意味ではこれだけ女性に優しい街として取組を実施しているというのは飯能市の売りになると思うので、それをどんどんPRしていただきたいと思えます。特に、今年度、特に力を入れた事業としてパープルリボンキャンペーンでは市内の全高校にパネルを回していますし、デートDVもかなりデリケートな問題で中学生に対して働きかけが難しいと思えますが、一般社団法人エープラス吉祥先生に</p>

	<p>お話いただき、分かりやすかったという中で、それが1つの中学校に限られてしまったので、たとえばロールプレイができなくなってしまうかもしれませんが、その講演の部分だけを配信にして他の中学生にも見てもらうなどして共有が図れるのではないかと思います。また、女性キャリアセンターとの事業は、確かに、参加者数は少なかったかもしれませんが、飯能市だけでなく、日高市、県と一緒に事業ができて、コロナ禍が明けて、またこういったことを実施し、市の雇用に繋げているということはとても大事なことだと思うので、ぜひ、アピールして欲しいと思います。資料1の基本目標1の男女共同参画映画会27名とDV防止週間映画会20名、詳しくは資料2の1と11ですが、効果・課題で70代が多く、女性の割合が多かったとあるのは、映画だと長時間拘束されてしまうので、対象層が高齢な方を意識したものになってしまうと思います。それでもこれだけの人数が来てもらったというのはとても需要があることだと思います。しかし、忙しい人が多いと思うので、短時間で端的に交流や情報提供ができるものと分けて、どなたを対象に事業をやっていくのか、いまの事業をベースに整理されれば、かなり素晴らしいものになっていくのかと思います。未達成というところで、自己評価を厳しくされていますが、コロナ禍が明けて、対面でこれほど参加者がいるので、そこまで厳しくしなくても良いかと思います。また、女性の委員の割合は、改選の時期があり、どうしてもすぐには変わらないと思うので、やむを得ないところもあるかと思います。</p> <p>各事業については、当課だけで行うのではなく、それぞれの事業を誰とどういった形で進めていくかということ今年1年、考えながら進めてまいりました。特に防災やデートDVの事業を協働して実施しました。防災では避難所開設に携わる職員に対して、担当部署とともに進めていきました。先日、美杉台中学校で行ったデートDVの講座でも、事前に養護教諭の先生が性教育の一環として、連続の授業とし、私達が講座をさせていただく前に、生徒は性教育の授業を受け、その後に私達のデートDVの講座を実施させていただきました。「人と人とのよりよい関係について」をテーマに連携して授業を行っていたので、講師の先生からも、そうした取組をしていること</p>
--	---

事務局

<p>会長</p>	<p>が生徒を通して伝わってきたとご意見をいただきました。今後 もいろいろな方と連携をして事業を進めていきたいと思いま す。映画につきましては、図書館で毎月行っている映画上映会 を男女共同参画週間と女性に対する暴力をなくす運動週間に 共催で行っていますが、周知の仕方が偏ってしまうこともあ ると思います。ターゲットをどういった年齢層にするかとい うことも図書館とも一緒に考えていけたらと思います。</p> <p>映画上映会の開催においては、時間帯という意味においても 大変な思いをされているのではないかと思います。私はかつて 認知症サポーター養成講座を行っておりまして、40～50代 の仕事をしている男性の方とターゲットをしぼったときに、土 曜日や夕方ですとか、そういう時間帯に数は少なくとも来て欲 しいという願いを込めて実施したことが思い出されました。そ こまで男女共同参画の担当課だけでやっていくことが難しい かと思いつつも、担当がいろいろな方と協働していきながら 実施していくことが重要だとおっしゃっていたので、それこそ がまさに男女共同参画かと思っておりますので、ぜひ頑張って欲しい です。</p>
<p>委員</p>	<p>映画の問題ですが、たとえば市内の高校生向けにSDGsの教 育の一環として、こういったプログラムがあるということ を、呼びかけをしてみたら、学年単位、クラス単位、または有志 単位で、この映画を観てみたいという話も出てくるのではない かと思っております。そうすると、美杉台中学校のように、1回 で相当数の子どもたちが観てくれるかと思っております。子 どもたちは感受性も豊かでこれから社会を担っていく上で、 社会的効果を生むと思っておりますのでそういった働きかけを するのが良いと思っております。学校側もSDGs教育しな くはないけれども、何をしたいか分からないので、このよう な提供の仕方をする必要もあると思っております。また、全 体を見て、資料2の16番の女性キャリアセンターの講座や外 国人に向けた事業においても、参加者を増やすために発信 していくということですが、実際に事業に関しても庁内だけ でやるのは大変だと思うので、官民連携を心掛けて、効果 的な機関に依頼をし、新たな周知方法を見つけることは男 女共同参画の事業を継続していくために</p>

委員	<p>必要だと感じます。</p> <p>デート DV の講座は民生委員の会議でも美杉台中学校から非常に良かったと報告がありました。中学生にはコロナのワクチンのデマなどまだ回っていて、一般的には考えられないことも友達の間で回っているので、やはりこういったことを美杉台中学校だけではなく、他でもやっていただければと思います。</p>
事務局	<p>高校生に向けた映画上映会のお声掛けですが、私たちもそういった発想をしていなかったのも、現在行っているパープルリボンキャンペーンの写真展示も2年目となり、今後こういった形で展開をしていくか考えていたところでしたので、とても良いアイデアをいただいたと思います。また、パープルリボンキャンペーンをきっかけに授業の中で取り入れたという学校もありましたので、映画も考えていきたいと思っています。また、キャリアセンターの関係は、どれだけ周知をしていけば伝わるだろうかと考えて、まずは日高市と合同に実施させていただきました。参加いただいた企業も大変協力的でした。今回、合同説明会が初めての取組でしたので、店舗をお持ちの企業には、それぞれチラシを置いていただくなど工夫して実施しました。発信につきましてはアイデアをいただきながら考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>非常に素晴らしい取組だと感じました。先ほど皆様からお話にあったように、PR ですとか、その後の配信などがあると、とくに我々の世代だとインターネットで興味のあるものは検索をして視聴するので、ぜひそういった取組も行っていただければと思いました。個人的に見てみたいと思ったのは資料2の2番、フィンランド協会の講演会です。メインはフィンランドの幸福度でサブ的な部分で男女共同参画の部分を取り上げていると思うのですが、数字を見ても291人、これはかなり突出した参加人数になっていると思います。こういったものは、みんな参加しやすいのだと思います。映画は27人で世代が上の方々ということで、今、幸福度は若い世代にもかなり関心のあるテーマなのでそれに付随する形で実施していくといろいろな世代に浸透していくのかと感じました。</p>

委員	<p>私は自治会担当としてですが、なかなか自治会長で女性の方がどの地域にもおらず、美杉台に今年度1人いますが来年度交代されるようです。ぜひ、各自治会でも女性にも参加してもらい、イベントなどでも女性のパワーを発揮してもらいたいと思います。支部長会でも女性はおりませんし、年齢層も同じで視点が偏ってくると思うので、女性での視点も注目され、必要とされていますので、もっと女性に進出してもらいたいと感じております。</p>
議長	<p>他に御意見、御質問はありますでしょうか。 <意見・質問なし></p> <p>ないようですので資料1、2については以上となります。 続きまして、資料3について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p><資料3に基づき、事務局が説明></p>
議長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、資料3につきまして御意見、御質問はありますでしょうか。</p>
委員	<p>DVの被害だと身体的なものはすぐ通報をすると思いますので、やはり相談ではモラハラが多いのではないのでしょうか。我慢してしまう女性が多くて、それがだんだんと洗脳をされて、それが普通であると本人も誤解して、相談するところまでいかない人も多いです。「それ、おかしいよ、相談した方がいいよ」と言っても「いや、私が我慢すればいい」、「相談することが恥ずかしい」と感じている人もいます。民生委員もポスティングをしてなにかあれば相談してくださいと周知していますが、精神疾患の方も多いので直接は家には行けませんが、相談しやすい環境としては電話が一番だと思うので、電話相談もできることを周知した方が良いと思います。電話相談で名前と住所を言わないといけないことは負担だと聞きます。</p>
事務局	<p>女性相談、DV相談というと身構えてしまうこともあるのか</p>

	<p>というのが正直なところですが。電話相談ですと、本人確認がとれず、正式な相談で受けることが難しくなっています。一旦お電話いただければ、一度来てくださいと促しはさせていただきますので、まずはお電話をいただければと思います。</p>
委員	<p>まず、電話しないとそれが本当かどうか分らず、嘘の電話をする方もいるかもしれないので見極めも大事かと思ます。</p>
事務局	<p>匿名で相談も受けてはいるので、女性相談であればそういった形で受けることもできます。相談内容としては、複合的な要素も多く、精神疾患のある方ですと、すこやか福祉相談センターでも相談していたり、地域包括支援センターにも繋がっていたり、別の機関に繋がっている方が「女性相談や DV 相談に行ってみて」と案内をされ、他機関からこちらに繋いでもらうこともあります。また、警察ともそのように連携をしております。今後も関係機関に周知してまいります。</p>
会長	<p>先ほど我慢してしまうという話もありましたが、個人的な見解として、そこに DV に繋がる人の疾病性と我々の世界では言いますが、病的要素というかそういった関係性の問題が潜んでいるのかと思うので医療機関にも繋がって欲しいと思います。必要によっては、治療のルートに乗せないとな関係性の問題が解決しないくらい難しいと考えると DV の問題はどこがキャッチしてもいいですが、関係する機関と考えていってその人たちの生活を守ることをしなくてはならないと思しました。</p>
委員	<p>民生委員の会議でも出た件の中で、夫からの DV があり、怒りが常に家族に向けられ、家族も暮らしていけないということで、民生委員が入りましたが、誰の話も聞いてくれないので介入しても限界があるという話もありました。</p>
委員	<p>相談窓口について、飯能市のインスタグラムを見ておりましたが、たとえばインスタグラムに週 1 回でもいいのでこういう事業を実施したということと相談を受け付けているということ、電話番号を載せるなどして周知することが良いと思ま</p>

	<p>す。今の方は電話をすることは、ハードルが高いと思います。ラインやインスタグラムでメッセージを送ると思いますが、それでは個々の対応として無理があるので、ここで発信をして、たとえば匿名でも大丈夫ですよと発信をしていくと本当に困っている若い方たちにも届くと思います。こういった発信までしているんだと飯能市のアピールにも繋がるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>現在、周知している方法は相談カードの配架になります。ご意見にあった、より多くの方の目が留まる場所に周知するのは大変良い方法だと思います。電話相談については、今御意見をいただいた形で広く周知方法について検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>ほとんどが女性からの相談ということで、属性、年齢層や地域柄、世帯年収などのデータはありますか。</p>
事務局	<p>データまでは作成はしておりませんが、性別の内訳は記載しており、男性のDV相談にも応じております。年齢層につきましても、最近が高齢の方からの相談が増えています。また、精神疾患のある方の相談では複合的な問題があるため、その場合には保健師と一緒に入り、場合によっては医療機関に繋げるといった形をとっております。</p>
議長	<p>他に御意見、御質問はありますか。 <意見・質問なし></p> <p>ないようですので資料3については以上となります。</p> <p>続きまして、議事(2)第6次飯能市男女共同参画プラン令和6年度事業計画について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p><資料4に基づき、事務局が説明></p>
議長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、資料4についま</p>

<p>会長</p>	<p>して御意見、御質問はありますでしょうか。</p> <p>防災につきましては、震災や何かが起きないと変わらないということもそもそもおかしいですけれども、飯能市では能登半島地震の前の昨年9月から取り組まれています。この計画に位置付けたことを丁寧に行って備えていくことが非常に重要だと認識しております。ぜひ関係部署と取り組んでいけたらと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>議長</p>	<p>他に御意見、御質問はありますでしょうか。</p> <p><意見・質問なし></p> <p>ないようですので資料4については以上となります。</p> <p>それでは、(3)「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に関する取組について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p><資料5、資料5-1、参考資料に基づき、事務局が説明></p>
<p>議長</p>	<p>ただいま、事務局から説明がありました。議事(3)につきまして御意見、御質問はありますでしょうか。</p>
<p>職務代理</p>	<p>資料5に関して、各課の取組を一覧で表記してもらい、ありがとうございます。できればこれをもう少しブラッシュアップして具体的に当該事業を行っていく上で、まず何が課題になっていくかということと、その事業ではとらえきれていない潜在化している方もいることを意識してもらいたいです。たとえば、資料5の1ページ目の市民協働推進課のDV相談、女性相談では、こういった相談を行っていますと書いてありますが、実施している上での事業課題としては、匿名でも受け付けていますが、電話での受付はそもそもハードルが高いのではないかと、それに対しては、参考資料の飯能市自殺対策計画の79ページで、困難な問題を抱える女性への支援の充実として行政ではこういったことを行っているという整理はできていますが、他機関で匿名でも受け付けているものやメールやラ</p>

	<p>インでも相談に乗れますよという情報提供があると、連携の流れができると思うので、事業を実施していく上での課題としてもいいのかと思いました。もう一つ、潜在化していない問題としては、たとえば相談の説明だと、メンタルヘルスの問題でこれまで複数回相談に来ていた方が他機関に繋がったので実数としては減っているという話がありました。それは良いことです。相談者には自分の不安が高じてしまってそれが抑えきれなくなり相談に来るケースと本当に DV で命の危険があって相談に来る人もいて、どういった方々が利用しているのかという既存の資料があると思うのでそれをベースに抑えきれない方への対応をし、DV の問題も共依存の関係に陥っている方に DV 講座をやりますと言っても、参加しづらいと思うので、DV の関係性に陥る予防策を講じていくために、よりよく生きるためのコミュニケーション研修などといった誰もが参加しやすい形として開催してはいかがでしょうか。ハラスメントにおけるコミュニケーションとしては一方的に自分のメッセージを伝えてくるので、受け手側は自分の方がおかしいのではと改善できない状況に追い込まれて行ってしまうこともあると思います。そういったことを学べるような形の研修も良いと思います。また、例えばアンケートを入れ、お近くの方で何か困っている方はいらっしゃいませんかと尋ねることで、もしかしたら自分のことを書いてくれる方がいるかもしれません。それぞれ資料 5 で挙げている各課の取組を実施していく上で、担当職員が感じている事業課題はどんなことか、その事業では対応しきれない市民の方はどういった方がいそうなのかという課題を出した上で、ではそれを解決するにはどうしたらいいのかという実行計画を作る必要があると思います。すぐには難しいと思いますが、まずこの情報が出てきたので、これをもう一度ブラッシュアップしてさらによりよい施策に繋げていけると良いかと思いました。</p> <p>事務局</p> <p>DV 相談という看板を出してしまうと敷居が高くなってしまいます。DV を受けていることに気が付かない人もたくさんいらっしゃるのだと思います。ここに来てる方は気が付いてくださった一部の方なのかと思います。DV をメインにするのではなく、もっと敷居を下げて、コミュニケーションであったり、</p>
--	--

	<p>入りやすい形で投げかけながらというのは効果的な方法だと改めて思いました。私たち、男女共同参画担当だけで行うと固くなってしまうこともあるので、子育て支援課や健康づくり支援課など、担当があまり偏らない形で、一緒に出来たらと思いました。</p>
議長	<p>この問題は大きく、幅広いですし、個別に見ていくと奥が深いと思うのですが、委員の皆様、御意見がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>最近、アンガーマネジメント、怒りをコントロールするという方法がありますよね。お母さんも子どもに怒りたくないのに、イライラしてしまっているのがあると思います。それがDVのきっかけにはなるので、若いお父さん、お母さんが参加できる講座をDVに結び付ける形ではなく実施すると人間的に成長できる、その先にDV抑止があるような楽しい講座があると良いかと思えます。怒りたくないけれど、怒るときはこうしようね等、そういったものだと夫婦で参加しやすいかと思えます。子どものフードバンクもやっているのですが、最近保健センターで関わっているお母さんは精神疾患の方も多く、また腰痛でどうにもならないなどといった場合やフードバンクであると食品の提供が3か月だけなど、就職や物資の量や期間に制限がかかり、あとは貸付となるとすぐに切れてしまう支援になってしまいます。長期的な支援が足りていないと思えます。仕事しようとしてもできない、シングルマザーのお母さんだと、病気や持病でいつ治るか分からないという方の相談先を増やしてほしいです。昔と違い、夫がいないことも多いので、そのお母さんがどうやって生活をしていくのか、不安を取り除くような講座も良いかと思えます。</p>
会長	<p>アンガーマネジメントは、相談援助職の私たちも受けます。感情の労働をするものですから、対象者から言われたことで傷ついたり、怒りを覚えたりすることがあるけれども、それをコントロールしないと相談における仕事はなかなか難しいです。それは専門家のためだけではなく、普段の日々の暮らしの中にもあることであるし、あとはソーシャルスキルのトレーニング</p>

委員	<p>などは、コロナ禍の大学生が卒業して社会に出て行くので、コロナ禍で本来、身につけてくるはずのものが身につかないで、大人になっていく、そのように考えると、関係するところと協働していき、役割を分けていかないと男女共同参画の担当の方が大変になってしまうと思い聞いていましたが、とても重要な要素だろうと思いました。</p> <p>妊産婦の支援の充実というところで、私はコミュニティスペース、レンタルスペースを街中で行っていますが、そこにご相談に来るのが、妊娠、出産前後のお母さんのメンタルケアをできる講座を開催したいと、意外とそういった取組をしている個人の方や任意団体が結構いらっしゃいます。保健センターで全てサポートすることは、まず厳しいと思いますし、保健センターが空いている時間にそこに行けるのかという問題もあるので、ワークショップをしたい方は、土日やお子さんが小さいので、行政が動いている時間ではない日時で開催する場合もあるので、逆にそういったことをやりたい若いお母さんがいるので良いと思います。保健センターをサポートするサポーター育成のような、市で、こういった課がバックアップし、困りごとに対して学びの場を設けた上で、活動をしてもらえば、さらに広がり、官民連携のような形でできるのではないかと思います。メンタルが傷ついている方も多い反面、そういった方々を救おうという元気なお母さんもかなりいるということが、見えてきています。</p>
事務局	<p>困難な問題を抱える女性への支援というのは幅が広がっていて、DV だから避難というだけではなく、本当に行き場のない、避難するにしても、一時クールダウンすれば大丈夫といった方にも対応していかないとならない、そうするととても市の相談窓口だけでは賄いきれないところもありますし、おっしゃっていただいたように行政がやっていない時間でも居場所として利用できることも考えると民間の力を借りなければ到底対応しきれないと考えています。女性相談というのは、他市では、週に1回や2回、DV 相談は毎日やっているところも多いのですが、飯能市は最初から DV 相談も女性相談も毎日受ける形をとっているのです、そこに関しては従来から対応はできて</p>

	<p>いたかとは思いますが。今後そういった、居場所づくりというのは、ぜひ民間の方のお力を借りながら整備をしていきたいと考えています。また、なにか情報がありましたら教えていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
議長	<p>他に御意見、御質問はありますでしょうか。 <意見・質問なし></p>
議長	<p>ないようですので議事（3）については以上となります。</p> <p>それでは議事について全て終了しましたので議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。</p>
参事	<p>加藤会長ありがとうございました。 続きまして、次第4 その他 になりますが、事務局から連絡をさせていただきます。</p>
事務局	<p><事務局から報告></p>
参事	<p>本日は、長時間に渡り貴重な御意見を賜り、誠にありがとうございました。</p> <p>なお、本日の審議会をもちまして、審議会委員の2年間の任期が終了となります。</p> <p>委員の皆様には、2年間、貴重な意見を賜り本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。</p> <p>それでは、任期が満了するにあたり、委員の皆様から一言ずつお言葉を頂戴したいと思います。</p>
委員	<p><委員挨拶></p>
参事	<p>ありがとうございました。</p> <p>次回からは、新たなメンバーにより審議会が開催されることとなりますが、退任される委員の皆さんにつきましても、引き続き、当市における男女共同参画の推進にあたり、御協力を賜りますようお願いいたします。</p>

	<p>事務局からは以上ですが、委員の皆様から何か連絡事項等ございますか。</p> <p>ないようですので、以上を持ちまして、第2回飯能市男女共同参画審議会を閉会とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p><閉会></p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>議長の署名 _____</p>	